

三沢市立三沢病院での内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科5年 二川原遼

2025年11月25日～12月5日までの2週間、三沢市立三沢病院で内科実習をさせていただきました。

実習では、消化器内科の鈴木先生、糖尿病内科の中山先生のもとで外来や内視鏡検査、救急対応、回診などを見学させていただきました。限られた診察時間の中でもそれぞれの疾患の検査や治療、国試の問題について懇切丁寧にご指導いただきました。特に印象に残っているのは、患者さんとのコミュニケーションです。患者さんが症状



を伝えて治療について相談しやすいように、先生方が患者さんに合わせて話す速さや表現を工夫することによってあたたかい雰囲気を作られていて、普段の国試勉強だけでは学べない大変貴重な経験をさせていただきました。大学病院で患者さんの問診を担当させていただいたことがあります。先生方のように明るく患者さんに安心感を与えるコミュニケーションをとることはできませんでした。これからの実習では医学的知識だけでなく、患者さんの不安を和らげるコミュニケーションや、わかりやすく病状と治療を伝えられる技術を磨きたいと思います。

また、外来見学を通じて、検査結果から病態を分析し、患者さんの背景に合わせた治療を選択することの重要性を学ばせていただきました。今までは各疾患の治療を臨床と結びつけながら学ぶ実習でしたが、複数の治療の選択肢から患者さんの背景に合わせた治療を選択するプロセスをご指導いただき、臨床の奥深さを実感しました。患者さんに合った治療を選択するためにも、治験の情報収集や学会発表などの自己研鑽に励まれている姿を間近で見学することができ、自分の将来目指す医師像がより明確になりました。

救急では、患者さんの主訴、バイタル、採血、心電図、画像結果から鑑別疾患を挙げ、初期対応から入院までの流れを見学させていただきました。検査結果を見て緊急度の高い疾患を見逃さずに瞬時に追加の検査、治療を進めていく姿に感銘を受けました。先生方のような、患者さんの身体所見をとりながら複数の鑑別疾患を除外し、診断をつけるまでの落ち着きながらもスピード感のある対応ができるように、より一層医学の勉強に努めたいと思います。

最後になりましたが、ご多忙の中ご指導いただきました鈴木先生、中山先生、研修医の先生方、看護師の皆様、コメディカルの皆様に心より感謝申し上げます。

実習期間: 2025.11.25 ～ 2025.12.5